



コロナ禍で得た気づき

～心の平和の砦を「エコトーン」でつつむ～

去る令和3年3月9日、「辰馬会頭をかこむ春の集い」が、取り壊しを控えた「旧」商工会館での最後の女性会事業として開催されました。



新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、多くの事業が中止になるなか、女性会令和2年度最初にして最後の事業が、商工会館最後のメモリアル事業となりました。最後に辰馬会頭を囲んで記念撮影を行い、思い出深い会館との別れを惜しみました。

会頭からは、過去の大震災のご経験や、コロナ後のニューノーマル時代の生き方、地域での取り組み、教育の果たすべき役割、文化の力の大切さなどを、具体例を挙げてお話いただきました。

また、SDGsに照らし、「持続可能」な世界にしていくために、生態系バランスや自然環境を守るために重要な「エコトーン」（水域と陸域との移行帯など）を例にとり、ユネスコ憲章の一部にある「人の心の中に平和の砦」を「エコトーン」でつつんで守っていこうとの見解もいただきました。

辰馬会頭の力強く、優しい視点からのお話に、厳しい時代を乗り越えていくための、一つの指標を示して頂いたように思います。



会員募集中

Tel : 0798 - 33 - 1257
西宮商工会議所 女性会担当

ホームページは、こちら
<https://n-cci.or.jp/joseikai/>

